

シンポジウム「社会学・社会福祉学から見る現代と未来」の開催について

1. 主催 日本学術会議 社会学委員会、社会学系コンソーシアム
2. 日時 平成20年6月7日(土) 10:30 ~ 17:00
3. 場所 日本学術会議講堂  
住所：東京都港区六本木7-22-34、最寄り駅：東京メトロ乃木坂駅  
ウェブサイト：<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>
4. 次第

開催趣旨

近代化やグローバル化の潮流の中、社会福祉学や社会学に従事する研究者の教育研究環境が大きく変化している。人間のありようを観察し、人と社会にフィードバックすることを旨とする社会福祉学・社会学では、現代社会にたいする透徹した理解と行為への積極的指針が必要とされる。現代社会とはどのような社会か、またその中で目指すべき社会福祉とはどのようなものか、議論する。

- I 開会あいさつ (10:30~10:40)  
野宮大志郎(上智大学教授、数理社会学会、社会学系コンソーシアム)
- II パネル・ディスカッション「「リスク社会」から現代を斬る」 (10:40~12:50)
  - 1) 藤田弘夫(慶應義塾大学教授、地域社会学会、社会学系コンソーシアム)  
「都市社会とリスク」
  - 2) 小松丈晃(北海道教育大学准教授、日本社会学史学会)  
「リスク社会と『安全安心まちづくり』」
  - 3) 遠藤薫(学習院大学教授、日本学術会議連携会員、日本社会情報学会)  
「リスク社会とリキッド・ライフー自由と安全・安心のパラドックス」
  - 4) 山田昌弘(中央大学教授、日本家族社会学会)  
討論者
  - 5) 今田高俊(東京工業大学大学院教授、日本学術会議会員・社会学委員会委員長、日本社会学会)  
討論者
- III パネル・ディスカッション「求められる社会福祉の未来像」 (13:40~15:35)
  - 1) 阿部彩(国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部第二室長、福祉社会学会)  
「社会福祉を取り囲む経済環境の変化」
  - 2) 三本松政之(立教大学教授、日本地域福祉学会)  
「生活課題の複合化と地域福祉のあり方をめぐって  
ーコミュニティを機軸とした生活支援ー」
  - 3) 白澤政和(大阪市立大学大学院教授、日本学術会議会員、日本在宅ケア学会)  
「社会福祉の教育を展望する」
  - 4) 古川孝順(東洋大学教授、日本学術会議連携会員、日本社会福祉学会)  
討論者
- IV 社会学系コンソーシアム総会 (15:50~16:50)
  - 1) 活動報告(財政、2008年度事業予定等)
  - 2) 総会審議
- V 閉会あいさつ (16:50~17:00)  
今田高俊(東京工業大学大学院教授、日本学術会議会員・社会学委員会委員長、日本社会学会)

司会

布施晶子(札幌学院大学学長、日本社会学会、社会学系コンソーシアム)

参加申込方法

事前申込みの必要はありません。参加費は無料です。